

## 更生保護女性会だより

### 全国大会に参加して



会長 大谷 民子

今年度は、更生保護制度施行70周年にあたり、去る10月7日、東京国際フォーラムにおいて、天皇、皇后両陛下のお出ましのもとに記念大会が開催され参加しました。天皇陛下より更生保護関係者へ温かいお言葉を賜りました。

また、内閣総理大臣、衆参両院議長はじめ、多数の要人の方々よりお祝いと激励のあいさ

つがありあらためて、更生保護活動への“意欲”をいただきました。

少子高齢化の進む中、地域の絆がいよいよ大切になってきました。私たちが、これまでに積み上げてきた活動が地域の中で更に発展するよう研鑽に努め、関係団体と連携しつつ、女性らしい人間愛をもって、非行や犯罪のない明るい社会づくりのために活動したいと思います。

### 令和元年度 総会・研修会

国富支部長 濱田 良江

6月22日、国富コミュニティセンターにおいて総会・研修会を開催しました。

清興、皇后の宮御歌・・・と続き、来賓から祝辞をいただきました。その中で「人と人の繋がり、地域の絆が回復してきているが、さらに深まっていくことを期待する」とのお言葉がありました。

研修会では、「広い目を見た教育～懐かしのフォークソングと共に～」と題して代表の

三代喜政様のご講演をいただきました。日本人学校の経験を基にした「教育論」を伺ったり、バンド仲間と「懐かしいフォークソング」を披露していただきました。

議事の報告や審議の後、全員で合唱をし、和やかな雰囲気の中で終了しました。

これからも更女会員として微力ながら、色々な活動に取り組んでいきたいと思いをしました。

### 今年度が最後のひらた福祉フェスティバル

北浜支部長 小澤 哲世

夏が終わると、地域のみんなが参加していたひらた福祉フェスティバルが、本年度で幕を下ろすことになりました。各支部を挙げて協力していただいたバザー用品は好評で、毎年大盛況で完売していました。この収益金は、図書カードに替えて毎年小学校、保育園等に寄贈しています。

折り紙教室は、終日満員という人気のコーナーでした。



## 子育て支援活動

### ◆ひらた乳児保育園

檜山支部長 坂本多加子

8月24日、ひらた乳児保育園を訪問しました。園長先生から「現在、0～2歳児11名を受け入れていて、平成31年4月には小規模保育園の認可があり、今後は園児を増やす計画があり、張り切っている。」と挨拶がありました。

この日は園の夏祭りで、保護者の参加もあり、園児の浴衣姿はとても可愛かったです。私たちも歌ったり、踊ったり、保育士さんの寸劇や園長先生のピアノ演奏もあり、会場が一体となって大いに盛り上がりました。

最後に、園児の代表に図書カードを贈りました。



### ◆光幼保育園

伊野支部長 多久和喜代美

7月31日、光幼保育園に紙芝居訪問をしました。

「ミミちゃんの手と手と手」というお話をピンクや赤のてぶくろ、頭にはうさぎの耳をつけて、身振り、手振りで読むと、園児は、嬉しそうに楽しそうに、見たり聞いたりしていました。

紙芝居が終わると、園児と同体の人形で一緒に駆け回ってはしゃぎ、更女のみんなども童心にかえり、元気をもらった一日でした。

最後に、図書カードを贈りました。



## ご寄付の御礼 原 勝次 様 (有限会社スペース企画 代表取締役)

— 更生保護女性会の活動にご理解をいただき多額のご寄付をありがとうございました。 —

※地域との連携・協働活動※

## 社会を明るくする運動メッセージ伝達式

副会長 三成 歳子

7月3日、ビックハート出雲の白のホールにおいて伝達式と講演会がありました。

講演会では、元夜間中学校教諭の松崎運之助先生の「命の光を大きく輝かせるために」

と題した講演があり、とても優しくほっこりしたお話で、心が和みました。

終了後、平田地域内の大型店前で啓発運動を行いました。

※地域との連携・協働活動※

## 「人権・同和問題を考える女性のつどい」に参加して

佐香支部長 山岡 喜美子

標記の集いが8月25日、大田市「あすてらす」であり、平田地区から3名が参加しました。

この集いの主旨は「身近な差別や偏見の解消に向けての実践」でした。

開会の行事の後、わたしたちの中の差別意識 部落差別問題から考える DVD を視聴しました。この中で、一番心に響いたことは、「知らないではすまされない、人として知ること。もっと詳しく知るべきこと、自分自身の生き

方を考えること、自分の中にある差別意識と向き合うこと・・・。」でした。

さらに、グループに別れての意見交換がありました。どのような意見もしっかり聞き、誰もが思ったこと、感じたこと、考えたことを出し合いました。

女性の集いらしく終始、和やかな、温かい雰囲気での会でした。

## 新入会員の紹介

～ よろしくお願ひします～

\*平田/河原 照子 中濱 和子  
矢野 京子 木野 明子

\*檜山/落合 範子 文谷 友子  
西尾 瑞江  
\*北浜/三原 邦恵  
\*国富/今井 早苗  
\*佐香/金折 和子



## 新入会員研修会に参加して

久多美地区 伊藤 昭江

10月17日、新入会員研修を受講しました。私は、昨年入会し、更生保護の内容もよく分からずに行事に参加していました。今日の研修で、社会を明るくする運動等、

犯罪非行防止活動の一環で活動していることを学びました。これからも更生保護女性会のひとりとして、明るい地域づくりに貢献したいと思います。

## 受賞 おめでとうございました

中国地方更生保護委員会委員長感謝状

福田 真智子

中国地方更生保護女性連盟会長表彰

渡部 妙子 坪内 栄子

松江保護観察所所長感謝状

藤井 愛子 高橋 泰子 森脇 恵津子 山根 由美 濱田 良江  
荒木 千恵子 渡部 かめ子 日下 ゆきえ 小村 せい子 山崎 啓子



※地域との連携・協働活動※

## 大仁地区更女との交流会

西田支部長 坪内 栄子

10月17日、大仁地区の皆様をお迎えして交流会をしました。

はじめに、大仁地区の代表の方の挨拶があり、その中で「平田は、とてもよい所ですね。」と話されました。

続いて、大谷会長が歓迎の挨拶をしました。そして、久多美と佐香の支部長が地区の活動の概要を説明しました。参加された大仁地区の皆さんは、それぞれ関心を持って聞いてお

られました。

その後、常光寺住職、野津様による「自らを愛し、自らを敬う」の演題でご講演をいただきました。「言葉を楽器として遣う5つのポイント」を学ばせていただきました。

今後は、地域の福祉の向上に貢献したいと決意を新たにしました。



## 愛の募金ありがとうございました

募金総額 191,885円

★県の更生保護施設と平田地区の3小学校 2保育所へ  
図書カードを贈りました。





＊地域との連携・協働活動＊

## 保護司と更女との合同研修会

副会長 福田 真智子

12月10日、広島刑務所を訪問しました。数年前から全面改築工事が行われ、施設環境が整った立派な刑務所でした。特に、病院並みの医療設備があり、医療スタッフもそろっており、受刑者の健康な心身の把握に努められていました。

しかし、冷暖房もない厚いコンクリート壁で仕切られた狭い独房での生活に、犯罪に対



する代償の大きさを感じました。そして、受刑者が一日も早く社会復帰できることを願いながら刑務所を後にしました。

＊地域との連携・協働活動＊

## 保護司会・民生児童委員会共催 社会を明るくする運動講演会

常任理事 小村 恵子

1月19日、平田コミセンにて、「ぼかぼか広場・ぼかぼかキッチン」主宰の野津恵子様をお迎えして、「次世代へのバトン ～忠吉翁からいただいた教えや言葉～」と題した講演会がありました。

前半は、「自分の幼少時代は淋しかった、食事も貧しかった。41歳から始まった子育て、その中で自分の子にだけは、同じ思いはさせたくない。」という思いから、「ぼかぼ

か広場、キッチン」を始めたこと、後半は、木次の「食の杜」で出会った82歳の佐藤忠吉翁の自然に対する思いや、人との関わり方に感銘を受け「忠吉語録」を出版したことを話されました。是非、読んでみてください。



＊地域との連携・協働活動＊

## 非行防止講演会

久多美支部長 原 富枝

10月3日、平田中学校2年生を対象にした非行防止教室がありました。

はじめに、上谷講師様から「松江保護観察所」と「法務省の組織」について紹介がありました。

また、中学生として大切なことは、「①自分が非行をしない ②差別をしない ③困って

いる友人に声をかける ④笑顔で挨拶をする」であり、さらに安全安心な社会をつくるためには、一人ひとりが更生保護について学び考えてみる大切であることを学びました。



## 会員手づくりの胸花を贈りました

今年度も平田地域全小学校の卒業生と先生方255人に卒業式の胸花を贈りました。

この事業は、「出雲市社会福祉協議会の会費、寄付金及び共同募金」を財源とした出雲市社会福祉協議会からの福祉団体等活動助成金を受けて実施しています。



今年から「支部活動の紹介コーナー」は、次年度の総会時にお渡しする「総会資料」と重複するので、今年度予定の灘分、佐香、鰐淵については、その中で詳しく紹介します。

〔編集委員〕 小澤 坪内 坂本 多久和 山岡